

第46回 日本リハビリテーション医学会学術集会 専門医会企画のご案内

日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医会

専門医への教育と議論を深めるために、専門医会として下記のテーマで企画を行います。「リハビリテーション処方」に関しては、さまざまな議論が過去にも行われてきましたが、ここで専門医として、どうあるべきかを学術的な観点から議論したく思います。参加は専門医に限りませんので皆様奮ってご参加のほどお願い申し上げます。

なお、この企画は、昨年末より演者を公募しておりましたが、専門医会幹事会での検討の結果、下記の先生方をお願いすることとなりました。多数のご応募をいただきありがとうございました。ここにあらためまして、御礼申し上げます。

記

「専門医として、リハビリテーション処方をどうするべきなのか」

2009年6月5日(金) 16:30～18:30 第2会場 (11F 会議ホール「風」)

1. 「リハビリテーション処方」をめぐる諸問題 (30分)
 - 専門医としての観点から—……………国際医療センターリハビリテーション科 藤谷 順子
2. 症例を通じて「リハビリテーション処方」を考える
 - 1) 脳卒中患者の半側空間失認に対する処方 (30分)
 - ……………村山医療センターリハビリテーション科 水野 勝広
 - 2) 下肢切断患者への処方—DM 合併例, 腎不全例など (30分)
 - ……………横浜市立大学付属病院リハビリテーション科 横井 剛
3. Free discussion (30分)
 - 1) 専門医として、リハビリテーション処方をどうするべきか?
 - 2) 実際の現状とあるべき姿